

## 団長の独り言

11月27日(日)「柔軟に脚本変更を」

ただいま稽古を行っている「人生芸夢」夢のとおり道々の脚本は、約23年前に描いたもので、かなり時代錯誤な場面がたーくさん出てきていた。

あの当時はスマホはなかったし、当然SNSなんてものも無かったので、情報ともので入り方が随分違った。

そこで脚本を現在に置き換えて描き直そうとしていたのだが、20年前の時代背景だからその場面が結構あって、それを無理に現在に置き換えると、芝居小屋のメンバー全員がスマホ生活となるわけで、20年前では成立していた出来事も、現在のSNSを活用したら、あっという間に事実が解明されてしまい、面白みのない物語になってしまうので、時代設定を1998年って事にしてみた。まあ一種の時代劇ですわ。

すると何もかもしっくりくるんです。ただ問題は、「このお芝居は1998年の物語です」ってのをお客様に理解していただくかなくてならない。

そこで、メンバー達と話し合った結果、芝居の冒頭に、1998年のニュースがさりげなくラジオから流れているって事にして、セリフの端々にも、「2月に行われた長野オリンピックは盛り上がったね〜」とか、「自民党が参議院選挙で大敗！

橋本首相が退陣」等の時事ネタを入れてみる事に。

あとは皆さんの芝居力と、小道具やら衣裳や髪形なんかで、20数年前を表現しようと思っただけはいるけれど、お客様が混乱しないようにやらなきゃね。

そういえばこの劇団ふあんハウスも、1998年12月、最初の顔合わせを行った。私からしてみたらそんな大昔って感覚はないけれど、こうして客観的事実と照らし合わせると、色々な出来事があった、あれから随分と時間が経ったんだなあ〜と実感する。

そんなわけで、その部分での脚本の矛盾点は、なんとかクリア出来たけれど、あとね：ずっと私の中でひっかかっているお芝居の核となる「ある役者」が、「ある事」で「ある決断」をして、そしてあーなっとなって行く：という場面を昨日の稽古で行ってみたのだが：：。

うーん：無理がある。20年前に同じシーンを同じセリフでやった時は、全く違和感なかったし、むしろここで感動すら沸き起こったのに、なんだろう？この空気は？私自身、実際に演じて違和感がありまくりだったので、このシーンに出ていないメンバー達全員、(8名くらい)演出席側に陣取ってもらい、正面から「観客目線」でじっくり観ての感想を聞いてみる事にした。「どうだった？」

演じ終えた私は皆さんに恐る恐る尋ねると、どのメンバーも表情が曇っている。

「あの：あまりにも唐突すぎます。」  
「団長の芝居が上手いから、なんとなくああ、そんなものかなあ？って思いそうになるけど：：なんかやっぱりおかしい。」  
「無理やりって感じですよ」

全員一致で、かなり手厳しいご意見。どうして20数年前は、このセリフで成り立っていたのかなあ？ただ20年前も、このシーンにはかなり苦労したみたい：：。そもそも一番最初に描いた「人生芸夢」のオリジナル初号台本には違うセリフのやり取りが描かれていて、その後、稽古を繰り返すうちに、「盛り上がり」に欠ける」と思ったのだろう。

当時間も試行錯誤を繰り返して、ようやく改定版に描かれているセリフに落ち着き、その脚本で上演をして成功を収めた。しかし今回、その大成功を収めた改訂版のセリフで演じてみると、先ほど描いたとおりの結果。

じゃ〜って事で改定前の初号台本のセリフでやってみると、余計間抜けな感じ。いやはや：参りましたねえ〜。仕方ないので稽古を中断し、ここでもみなで意見を出し合っていると、「Aが言うからおかしい」って事になり、じゃー「B」が言ったらどうなるかな？ってところから、セリフを「B」バージョンに変更し、絡む役者の動きやセリフも「B」に合わせて変更

して、何はともあれやってみたら！いいじゃないですかあ！稽古場にいる誰もがそれは感じた。

これはBを演じる〇〇さんの演技力があればこそなんだけど、それにしてもセリフを言う登場人物を変えただけで、こんなに素晴らしいシーンに変わるなんて。

物語に厚みが出たシーンへと生まれ変わり、気分を良くしての本日、日曜日。いつものように、「ダンス」「殺陣」「歌」の稽古を行ったのち、ついにエンディングに向かうクライマックスのシーンの稽古を行う。ほとんどの出演者が登場するとも賑やかなシーンなのだが、まずは好きなように演じてもらおうと：：大勢が出ているものだから、動きがひっちゃかめっちゃかで、芝居そのものも全然息が合っていない。

「クリンキーバー」、「久美・美容室物語」とほぼ変わらぬメンツで演じ続けてきたのに、どうしたものか？全然コミュニケーションが取れていない。登場人物が少人数のシーンでは、あれほどの感動的な繊細な芝居が出来るのに、なんじゃこれは？丁寧にダメを出して行くこうと思いきや、おっと！もう稽古終了の時間と相成ってしまった。

この続きは、週末の土曜日までお預けだ。クライマックスの大切なシーンだからね。20年前の記憶を頼ることなく、全く新しい作品として、作り上げられればと思うのであります。